

報道関係者各位

令和5年度むらやま森林ノミクスセミナーの開催
～森林の新たな活用を考える～

平成25年に「やまがた森林ノミクス宣言」が行われてから10年目の節目を迎えました。これまで村山総合支庁では、「やまがた森林ノミクス」を推進する様々な取り組みを実施してきたところですが、この節目の年に「やまがた森林ノミクス」の取り組みをより一層拡大させるため、一般の方を対象としたセミナーを開催いたします。

セミナーでは、異分野から森林・林業の世界に参入された実践者の事例を紹介し、意見交換を行うとともに、新たな森林活用を考えるワークショップを行います。

県民一人一人が主役となる新たな「やまがた森林ノミクス」の取り組みになるものと考えておりますので、当日取材くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和6年3月9日（土）13：00～17：30
- 2 場 所 モンベル山形店 2階 （山形市幸町7-22）
- 3 主 催 村山地域林業振興協議会（事務局：村山総合支庁産業経済部森林整備課）
- 4 参加者 村山地域に居住又は通勤通学している方 20名程度
- 5 内 容 13時～ 森林の新たな活用事例を学ぶ
（講師）一般社団法人農山漁村文化協会東北支部 支部長 橋本康範 氏
東北GYROs 代表 大場黎亜 氏
Woods and People MARUMORI 代表 刈田路代 氏
15時～ 森林の新たな活用を考えるワークショップ
妄想アイデア出しトレーニング「モウトレ」
（「森林×〇〇」から起想されるアイデアから新たな森林活用を考える）
（講師）一般社団法人妄想からアイデアを共創する協会 理事 相内洋輔 氏
- 6 その他 詳細は別紙参照



【問合せ先】

森林整備課 工藤、齊藤
電話 023-621-8285、8284
報道監 総務企画部長 工藤 明子

1 事業の背景

村山地域における「やまがた森林ノミクス」の推進

2 過去の開催実績

- (1) 開催回数：計7回（平成28年度より毎年1回開催）
- (2) 主な対象者：平成28年度～令和3年度 林業・木材産業関係者
令和4年度～ 一般



3 令和5年度開催のねらい

地域の方が作る「森林の活用方法」の検討、実践により、県民一人一人が「自分」に利益のあるものとして森林の価値を認知することで、地域に定着した持続的かつ主体的な「やまがた森林ノミクス」を実現すること

4 期待する効果

森林林業に対する県民理解の醸成、森林林業に対する応援団の増
森林林業を活用した新規ビジネスの確立による地域活性化

5 今後の展開計画

本セミナーにおいて提案された活用手法の周知（HP、SNS、広報誌など）
実現に向けた継続的なサポートの実施

6 講師略歴

- (1) 一般社団法人農山漁村文化協会東北支部 支部長 橋本康範（はしもとやすのり）氏

農山漁村文化協会は、農業従事者にとって有益な情報を届けるため、記者がバイクで地域を巡回し、現地の生の声を拾い、記事にして全国に発信している。山形県では、図書館やJAと連携し、野菜作り講座など実施。橋本氏個人としては、アフガニスタンにて故中村哲氏活動への参加実績などあり。

- (2) 東北GYROs（ジャイロス）代表 大場黎亜（おおばれいあ）氏

東京都生まれ。早稲田大学教育学部及び教育学大学院にて、教育と文学を学ぶ。学部時代に東日本大震災が発生し、個人ボランティアとして東北に入る。社会人になってからはまちづくりのコンサルタントとして働きながら、南三陸町で結婚し、町民に。2019年株式会社Plot-d設立。まちづくりのストーリーをどう紡ぎ、「人づくり」をどうしていくかをテーマに掲げ活動。防災教育にも力を入れている。コロナ禍で自伐型林業を学ぶ。地域の里山を守りながら人づくりをしていくことを目的とし、2022年一般社団法人東北GYROs設立。

- (3) Woods and People MARUMORI（ウッズ&ピープルまるもり）代表 刈田路代（かりたみちよ）氏

宮城県仙台市出身。東北芸術工科大学卒業後は画家として活動。2009年に豊かな自然と風土に惹かれ宮城県丸森町へ移住。2012年5月からはNPO法人ポラリスのアートスタッフとして障害を持つ人のアート活動のサポートをおこなっている。2022年には、自らの手で山を守り、山の生業を育む「自伐型林業」を実践する「Woods and People MARUMORI（通称：ウッピー）」を立ち上げ、精力的に活動している。

- (4) 一般社団法人妄想からアイデアを共創する協会 理事 相内洋輔（あいなひょうすけ）氏

㈱リクルート、公益財団法人東日本大震災復興支援財団、ソフトバンク㈱を経て2018年に独立。ワークショップデザイナーとして、組織開発やコミュニティデザイン、キャリアプランニングなど、様々な分野でワークショップを提供している。現在は妄想アイデアトレーニング「モウトレ」を中心に、年60～70回のワークショップ・研修・講義を提供。

（一社）妄想からアイデアを共創する協会 理事 / 事務局長、iU 情報経営イノベーション専門職大学 客員教授、東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 非常勤講師、公益社団法人ハタチ基金 事務局長、WORKSHOP LAND 代表コーチ。

7 妄想アイデアトレーニング「モウトレ」とは

アイデア創出を飛躍させる共創コミュニケーションの獲得と既存の枠組みに囚われない自由な発想が発揮される組織づくりを後押しするトレーニングプログラム群。妄想して良い場をつくることで、「これを発言したら、恥ずかしい」「自分にとって不利益になる発言は避けたい」という意識を取り除き、心理的安全性の高い環境で本質的なアイデア出しを実現する。